平成 24 年 11 月 7 日

各　　位

会 社 名　株式会社フェローテック
代表者名　代表取締役社長　山村　章
（ＪＡＳＤＡＱ･コード６８９０）
問い合わせ先　代表取締役副社長　山村　丈
（０３－３２８１－８８０８）

# 「事業構造改革プラン」の策定及び実施のお知らせ

当社は、平成 24 年 11 月 7 日開催の取締役会において「事業構造改革プラン」の策定及び実施を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業構造改革プランの理由と目的

当社グループは太陽電池市場の事業環境が昨年の後半以降急速に悪化し、不採算事業となった太陽電池関連事業の収益改善のため、シリコン結晶製造装置等の製造販売及び消耗品である石英坩堝の製造販売並びに自社ブランドのウエーハ・セルの製造販売に関し、事業縮小を骨子とした事業構造改革プランを策定いたしましたのでお知らせします。

この事業構造改革プランにより、一部製造設備の減損及び除却並びに人員合理化による損失が発生いたしますが、不採算事業の整理により、来期以降の黒字転換を目指してまいります。

2. 事業構造改革プランの概要

1）不採算の太陽電池関連事業の縮小

シリコン結晶製造装置：一部製品の生産縮小

主な製品は、単結晶引上装置、多結晶製造装置、角切りソー装置などです。

当該製品類は生産性の悪い旧型からの買い替え需要が見込まれるものの、ユーザーの資金繰り悪化により代金回収が不透明なことから現在は積極的な販売を控えております。省エネ化等の付加価値機能の開発は推進いたしますが、生産は大幅に縮小いたします。これに伴い、過剰な部品・部材在庫の評価減及び除却を計画しております。

消耗品群：一部製品の生産縮小

主な製品は、石英坩堝、ホットゾーンなどです。

当該製品類は、単結晶ユーザー向けの消耗品ですがユーザーの生産調整が想定以上に進み、設備稼働率の低下から消耗品需要が低迷しています。そのため、米国坩堝工場の操業を停止し、同工場は撤退いたします。さらに中国坩堝工場でも、坩堝製造装置の稼働台数を減少させる計画であり、それに伴って製造装置の減損等を予定しております。

太陽電池用シリコン：自社ブランド品の撤退

主な製品は、シリコンインゴット、シリコンウエーハ、太陽電池セルなどです。

当該製品類は、製品価格の急激な下落により、製造コストを吸収できず損失を見込むことから、自社ブランド品の製造販売から撤退し、委託先が原材料を調達し、当社は製造のみを行う受託製造事業を積極的に拡大してまいります。

2)人員施策

人員の削減及び役員報酬の減額を実施いたします。

人員の削減

上記計画の実施に伴い、当社グループ全体でおよそ 800 名の人員削減を計画しております。

役員報酬の減額（期間：平成 24 年 10 月～平成 25 年 6 月（9 ケ月））

代表取締役社長:役員報酬月額の 50%

代表取締役副社長・事業統括担当: 役員報酬月額の 50%

代表取締役副社長・管理統括担当：役員報酬月額の 20%

取締役（常勤）：役員報酬月額の 20%

取締役（非常勤）：役員報酬月額の 10%

監査役：取締役（非常勤）と同率を減額

その他の固定費削減対策（期間：平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

従業員賞与：平成 24 年 12 月支給分 25%減額、平成 25 年 6 月支給分 50%減額

従業員給与：部長以上の役職者給与 8%を減額、課長代理以上の役職者給与 4%を減額

3.今後の事業方針

当社グループは、太陽電池用シリコンの自社ブランド品の製造販売から受託製造事業に大幅な転換をし体質改善を行います。また、これまでのコアビジネスである装置関連事業及び電子デバイス事業を軸に当社グループが得意とするニッチ市場において高いシェアを維持しています。

装置関連事業

主力の真空シールは、ＦＰＤ関連をはじめとする製造装置メーカーの東アジア地区への進出

に合わせ、営業、設計などの現地対応を強化、スピード対応を実施し同地区でのシェア確保を進めてまいります。石英製品は、超高純度製品の中国移管を進めるほか、次世代製品（450ｍｍ）の販売を開始いたします。ＬＥＤメーカー向け製品は高い市場シェアを有しており、取りこぼしのないよう顧客満足の向上に努めてまいります。セラミックスは、材料・加工技術を核とした戦略を進め、半導体製造装置用のファインセラミックス及び半導体検査治具用のマシナブルセラミックスの拡販を進めます。特に、シリコンウエーハ 450ｍｍ化、スマートフォン、有機ＥＬ、ＬＥＤ関係分野での新素材製品の開発を進めてまいります。ディスクリート用シリコンウエーハは受託生産のほか自社ブランド品の拡充に努めてまいります。北米市場における蒸着装置については、スマートフォンなどに使用される通信制御チップ製造の増設に伴い販売を促進するとともに、欧米子会社が設計、販売しているエレクトロン・ビームガンを採用し、機能を簡素化した蒸着装置を中国のＬＥＤ市場に投入してまいります。

電子デバイス事業

主力のサーモモジュールは、新たなアプリケーション用途が多数あるため、高性能材料を適用した新製品をより積極的に市場に投入するとともに、自動化ラインの増設を進め、安定した製品供給とコスト低減を行い、顧客要求に適した品質と価格の両面で満足頂けるよう努めてまいります。米国市場は自動車向けに限らず、通信、医療、バイオなど高機能製品需要を掘り起こすため、代理店販売に加え、直販体制を強化し市場シェアの拡大に力を入れてまいります。また、パワー半導体向けＤＣＢ基板の需要は旺盛であり、品質の向上と生産能力の増強を進め、主要な市場である日欧で拡販してまいります。

太陽電池関連事業

引上装置等の結晶製造製品は、需要が減少していることから、ランニングコストが低い省エネ型製品やリチャージ機能を付加した製品開発に留めます。

シリコン製品は、自社ブランドから撤退した後、受託製造事業のみ事業継続いたします。

消耗品である石英坩堝は、太陽電池向けのほか、半導体向け製品の製造も進める計画です。

その他事業（非報告セグメント）

シリコン結晶製造装置で培った結晶炉技術を応用し、ＬＥＤ基板用途のサファイヤ炉の開発・販売に活用して参ります。加えて従前より受託加工で培ったＮＣルーター、ＮＣ旋盤などの製造ノウハウを生かし、スマートフォン向けのガラス加工機や研磨機、サファイヤ用コアドリルや研磨機の製造販売を来年より開始いたします。

その他、中国市場向け事業で、従前より行っている加工機の受託製造、表面処理（メッキ・部品洗浄）、ソーブレードなど比較的景気に左右されにくい事業を積み重ね、安定的な利益を追求してまいります。

4. 業績への影響について

事業構造改革プランの実施が業績に与える影響につきましては、本日別途開示しております「業績予想修正、配当予想修正、特別損失発生、及び繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ」をご参照ください。

注）上記の業績予想につきましては本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上